

笑う父親になるための、 ファザーリングの極意6カ条

Fathering
Japan



子どもができたならOS(父親ソフト)を入れ替えよう

義務から権利へ。客体から主体へ。さらば「家族サービス」

男の育児は、質より量。イトコドリ育児をやめよう

子育てパパは仕事もデキル。育児で備わる3つの能力

パートナーシップの構築～妻の人生は、夫のものではない

地域活動を通じて、シチズンシップを獲得しよう



現代の父親に必要なパパカ



① ママを支える

② パパ友をつくる

▶

育休中の過ごし方 ～スウェーデンの「ラテ・ダッド」とは？

・スウェーデンでは、両親に480日間の育児休暇が与えられ、その間は通常の賃金の80%が支給される。これは、母親だけがとれる18週間の育休に加えての日数だ。以降は、両親が都合に合わせて育休を分け合うことができる。

・スウェーデンの特色は、この480日間の育休のうち、父親にも、自分だけがとれる育児休暇が90日間与えられている点。これは、何かと母親に注意が向けられる時期に、父と子の結びつきを促進しようとの考えに基づいている。

・カップルは育児休暇を別々に取ることが義務付けられているため、スウェーデンでは子どもと2人きりで過ごす「ラテ・ダッド」と呼ばれる父親の姿がしばしば見られる。



・30歳前後の男性4、5人のグループが、ベビーカーを押して公園や街中のカフェでラテを飲む光景が当たり前。

・多くの西側諸国とは違って、スウェーデンでは育児休暇を取ろうとしない父親は、周囲から冷ややかな目で見られている。



絵本との出会い

- ・1997年 第一子(長女)誕生のとき、絵本に目覚める
- ・0歳から読みだす⇒7歳まで毎晩2冊ずつを読む
- ・絵本は教育ツールではなく、コミュニケーション・ツール
- ・絵本はこどもだけのものではない。大人にもグッとくる絵本はたくさんある



パパたちの読み聞かせ活動が活発化



パパ's絵本プロジェクト 2003年結成！
約300回、のべ7000人の子どもたちと絵本で
楽しんできた。



全国で絵本読み聞かせをするパパサークルが続出！
イキ(域)メンパパが急増！！



FJQ



おおいたパパくらぶ



ねりパパ

父親ネットワークが地域社会にもたらすもの

①地域の安全性が高まる

②子どもの居場所が増える



③子どもたちが多様な父性に接し社会性や職業感が育つ

④持続可能な共生社会が構築される

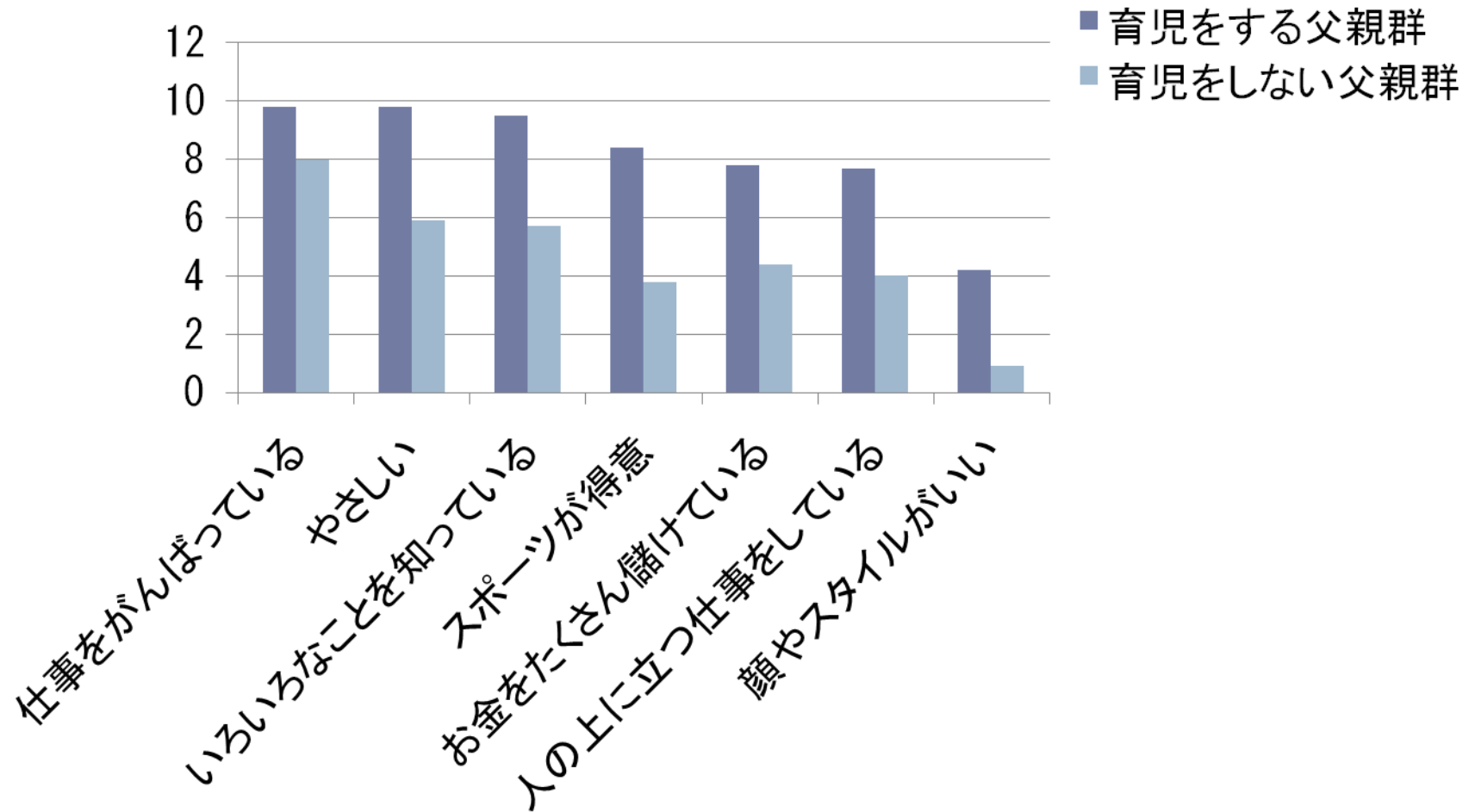
⑤コミュニティが活性化し、社会資本(資産価値)が高まる



F Jワークショップ



子どもは父親をどう見ているか？



笑っている父親が、社会を変える。



Fathering Japan

